

第3回 栃木県立益子芳星高等学校 学校運営協議会 報告

開催日時 令和6年1月17日(水) 13:20~15:20

開催場所 本校体育館

出席委員 大塚 昌哉 佐久間藤也 小倉 美保 池田 範夫
福島 礼司 篠原 泰三 佐藤 広志 宇都木修一

1 開会

2 校長挨拶

本日は2学年のコース別探究学習発表会をご参観いただき。インターンシップは2, 3, 4組が多くのお客様にお世話になり実施することができた。体験を通して得た気づきや課題、1年生に向けて伝えたいことなどをまとめ、コース内発表を経て、7チームが代表して発表を行う。ましこ未来大学は、1組において1年間通して研究したことを12月16日に実践し、活動を通して考えたことや得たことをまとめ、9チームが発表を行う。評価シートを用意したので委員の皆様には各チームへのコメントをご記入いただき、最後に大塚会長から生徒たちへの講評をいただきたい。

先日、第3期県立高等学校再編計画が発表され、本校については計画案から変更があり、福祉コースの導入をなくし、商業などの職業系専門科目や地域の特色を生かした教科・科目などの充実を図ることとなった。ご意見等あればお願いしたい。

3 2年生コース別探究学習発表会

(1) インターンシップ体験発表 (13:25~14:15)

(2) ましこ未来大学発表 (14:25~15:15)

(3) 講評

インターンシップは、高校生にとって働くことを身近に感じることができ、言葉遣いなどの礼儀作法やコミュニケーション力の大切さに気付くことができていた。ましこ未来大学の実践活動を通して、町の活性化の一翼を担っていると感じた。

若い力を感じる発表であった。益子町、芳賀郡、栃木県、ひいては日本全体を支える活躍を期待している。2年生はあと一年、インターンシップや未来大学で学んだことを生かして悔いのない高校生活を送ってほしい。

(4) 委員コメントから

- ・コミュニケーションを図ることの大変さを知り、社会人へのよいステップになった。

- ・業務をこなすだけでなく、職員の様子を観察し、自ら行動することの大切さを学んでいた。
- ・表の仕事だけでなく、裏方の仕事から各分担に対する責任を感じ取ることができており、改めてお客様への姿勢を学べたのではないかと。
- ・現在の自分の能力を知ることができたなら、しっかりと今後に活かせるようにできるとよい。
- ・大人になることに向き合うことは大切。チャレンジ精神をもって頑張ってもらいたい。
- ・本番を迎えるまでに3年生に体験してもらおうなど PDCA を回して、内容を深めることができていた。
- ・男子のみのチームでも、子どもたちを楽しませる雰囲気が作れたのは素晴らしい。子どもの目線になってサポートしている場面がやさしさに溢れていてよかった。
- ・子どもたちの心理を捉えた取組や、視覚でも楽しめるように細部までこだわった取組などよく考えられていた。子どもだけでなく親子を対象としたのは素晴らしい発想。